

Interop TOKYO 2017

ユーザエクスペリエンスを 向上させる秘訣とは？

ただ、設置するだけで、全てのレスポンスを管理することができます。

簡単にレスポンス管理ができる製品

DCRUM

(Data Center Real User Monitoring)

Keyword

エージェントレス

実体感レスポンス

全システム

使いやすさ

顧客/ユーザが
使いやすい画面/機能を
提供できているか？

レスポンス

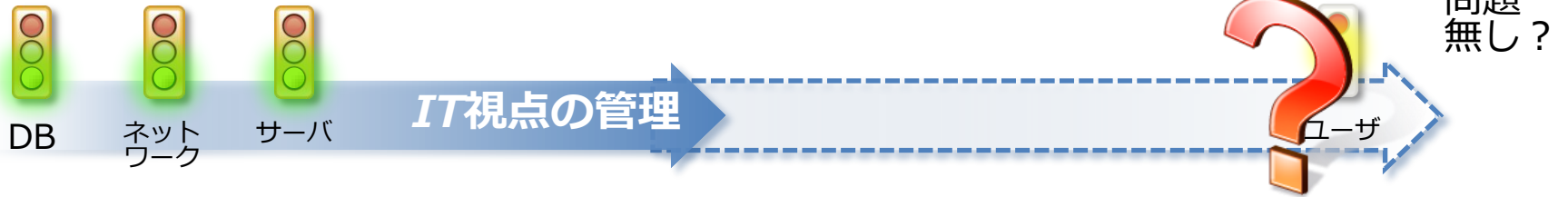
顧客/ユーザが
満足するレスポンスを
提供できているか？

まずは計測、その後に分析、そして改善

~~使いやすさ：計測困難~~
レスポンス：計測可能

システム部門がUX向上に貢献するには、
レスポンス計測が鍵となります

システムのレスポンス



オンプレミス

クラウド：プライベート及びパブリック

ユーザ



ユーザ体感のレスポンス



- ストップウォッチによる計測
 - **特定**のタイミング、特定の処理しか計測できない
- アンケートによる計測
 - **主観**が入ってしまう、声の大きい人の意見に引っ張られがち
- 特定の処理に計測コードを埋め込み計測
 - 正確な数値情報は取得できるが、システム毎に全パターンを把握して取得することは困難
 - 計測コードを埋め込むための**工数も多く、実現が難しい**

全てのユーザが感じるレスポンスを
観点に、的確に計測する仕組みは？

ただ、設置するだけで、全てのレスポンスを管理することができます。

簡単にレスポンス管理ができる製品

DCRUM

(Data Center Real User Monitoring)

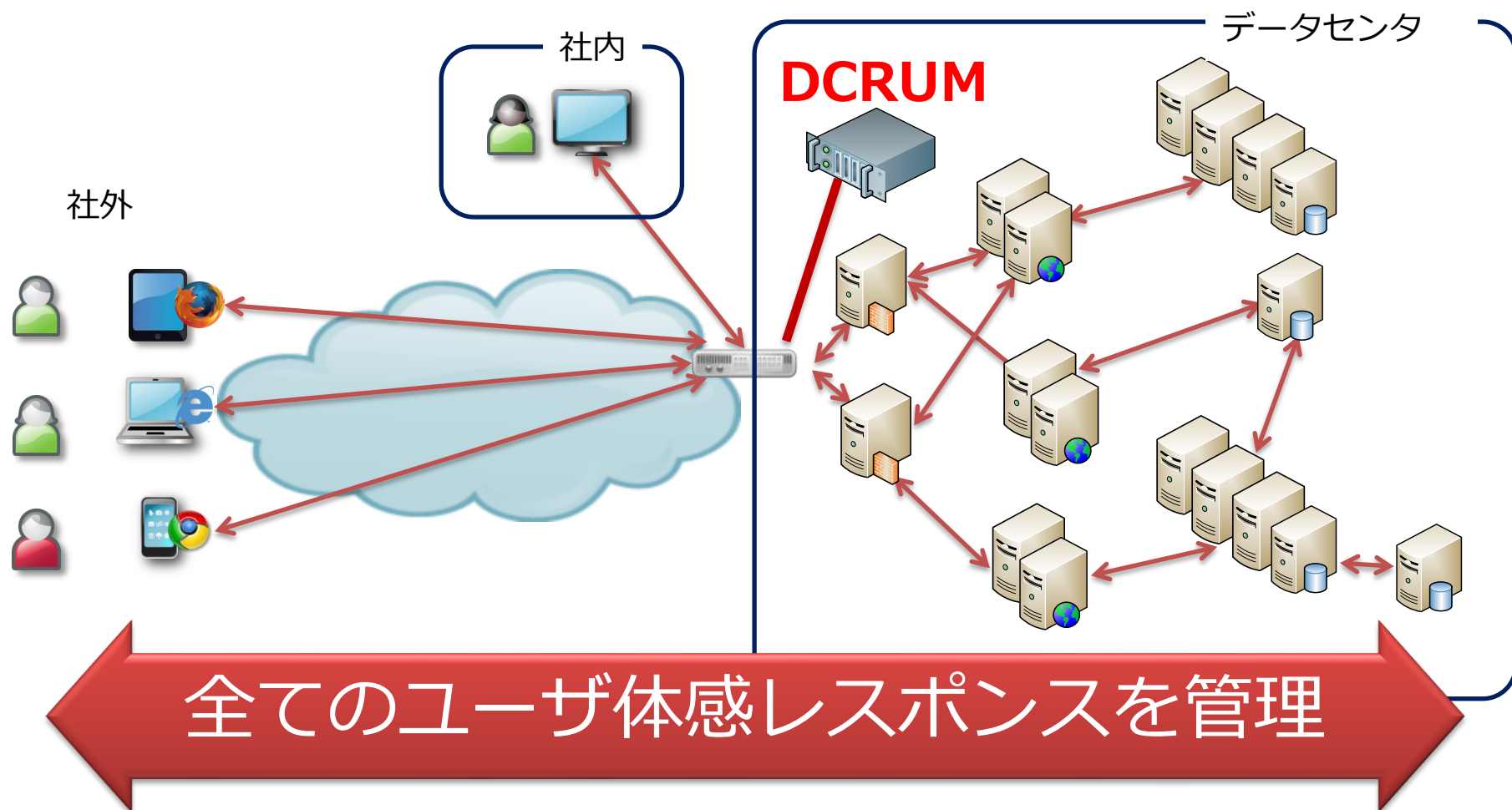
Keyword

エージェントレス

実体感レスポンス

全システム

DCRUMの機能概要紹介



流れるパケットを全てキャプチャし、トランザクション・アプリケーション別に自動的にユーザ体感レスポンスを分析可能

サポートプロトコル例



サポートプロトコル例

アナライザ	プロトコル	アナライザ	プロトコル	アナライザ	プロトコル	アナライザ	プロトコル
DNS	DNS	Informix	Informix	SAP GUI	SAP GUI	TCP	TCP
DRDA (DB2)	DRDA (DB2)	IP	IP	Siebel over HTTP	HTTP	TDS	TDS
Exchange / RPC	Exchange	Jolt (Tuxedo)	Jolt	Siebel over HTTPS	HTTPS	UDP	UDP
Generic	TCP	Kerberos	SMB	SMB	SMB	VoIP	RTP, RTCP, G711, H.323, SIP, UniStim
HTTP	HTTP	Oracle	Net8	SMTP	SMTP		
IBM MQ	IBM MQ	Oracle Apps over HTTP	HTTP	SOAP over HTTP	SOAP	XML	XML
ICA (Citrix)	Citrix	Oracle Apps over HTTPS	HTTPS	SOAP over HTTPS	SOAP	XML over SSL	XML
ICMP	ICMP	Oracle Forms	Oracle Forms	SSL	HTTPS	XML over HTTP(S)	XML

全体のアプリ稼働状況の把握

この画面はDCRUMで取得対象としている各アプリケーションの稼働状況を確認するダッシュボードです。一次的なアプリケーションの評価、影響を受けたユーザの数、アラートの有無の確認等が行えます。

手順①
警告が出ている
アプリケーションを確認

監視対象のアプリケーションの数

アプリケーションの稼働状況ステータス

14/03/12 08:50 - 14/03/12 09:30

概要

過去1時間

オプション

アプリケーション



合計 8

重大 0

警告 2

良好 6

アプリケーションの稼働状況



アプリケーションの稼働状況インデックス
99.4%



ビジネス インパクト



ユニーク ユーザーの合計数
2.99 k

153 / 2.99 k ユーザーがパフォーマンスの影響を受けています (5.1%)

アラート通知



0 アラート

過去24時間にアラートがありません

アラートの有無

影響を受けたユーザの確認

Network

Network Performance



Software Services
34

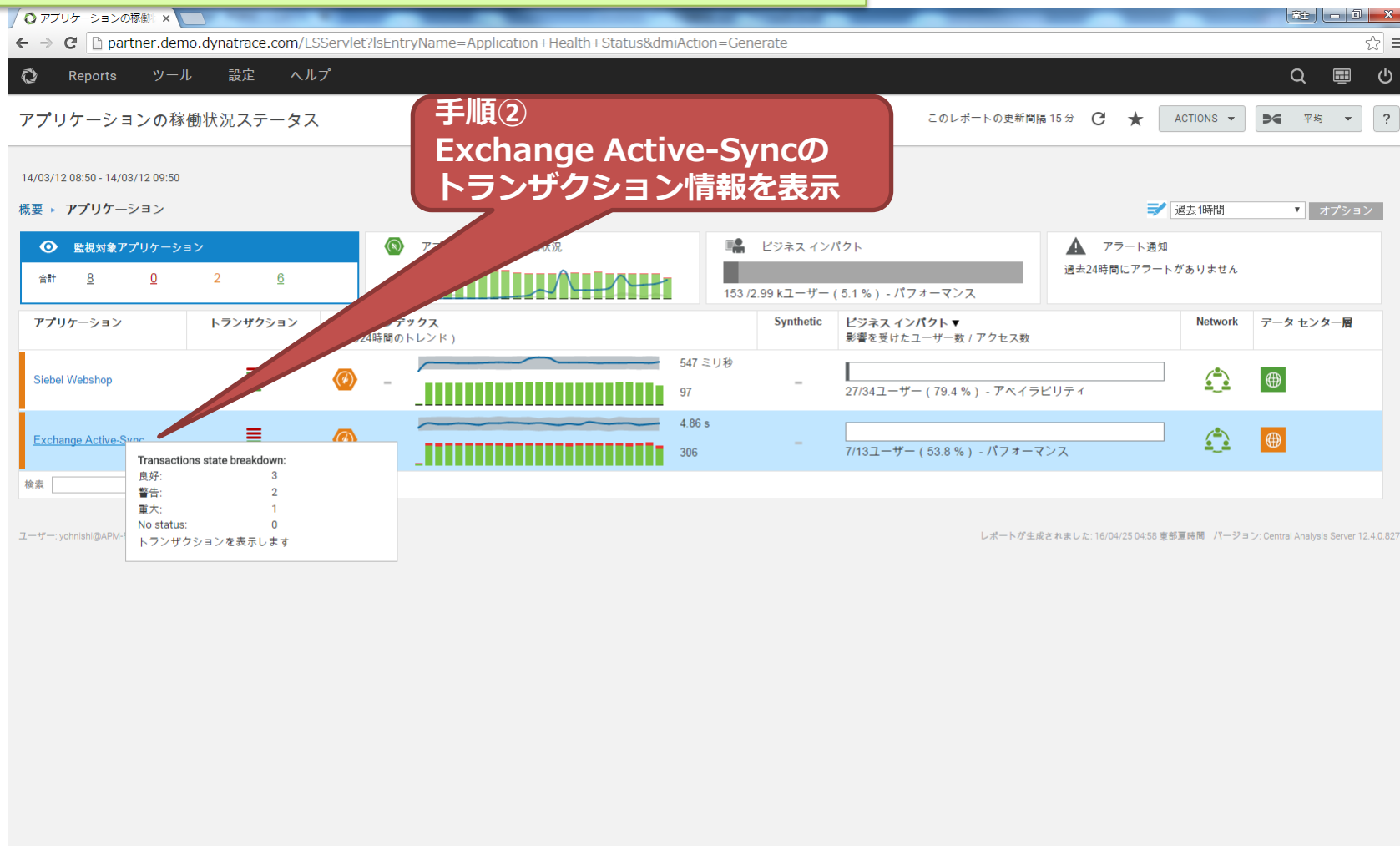
過去24時間にデータがありません

ユーザー: yohnishi@APM-FTS; 12.188.201.241:80 (ja)

レポートが生成されました: 16/04/25 04:39 東部夏時間 / バージョン: Central Analysis Server 12.4.0.827

問題のあるアプリケーションの絞込み

警告アプリケーションのサマリー画面です。ここからトランザクション、データセンタ単位での評価を行います。







手順②
Exchange Active-Syncのトランザクション情報を表示

アプリケーションの稼働状況ステータス

14/03/12 08:50 - 14/03/12 09:50

概要 ▶ アプリケーション

アプリケーション	トランザクション	デタックス (24時間のトレンド)	Synthetic	ビジネスインパクト ▼ (影響を受けたユーザー数 / アクセス数)	Network	データセンター層
Siebel Webshop	97	547 ミリ秒	-	27/34ユーザー (79.4%) - アベイラビリティ		
Exchange Active-Sync	306	4.86 s	-	7/13ユーザー (53.8%) - パフォーマンス		

Alerts: アラート通知
過去24時間にアラートがありません

Business Impact: 153 / 2.99 kユーザー (5.1%) - パフォーマンス

Transactions state breakdown:
良好: 3
警告: 2
重大: 1
No status: 0
トランザクションを表示します

ユーザー: yohnishi@APM-4

レポートが生成されました: 16/04/25 04:58 東部夏時間 バージョン: Central Analysis Server 12.4.0.827

トランザクションの絞込み

この画面ではトランザクション単位の稼働状況を表示しています。ここでは、Trans-Sendmailで全てのオペレーションが「低速」となっているため、さらに詳細を分析するため、データセンタ分析を開きます。

アプリケーションの稼働状況ステータス

このレポートの更新間隔 15分

ACTIONS

平均

手順④

アプリケーションの稼働状況にフォーカスし、データセンタ分析を開く

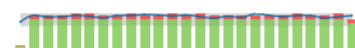
14/03/12 08:50 - 14/03/12 09:50

概要 ▶ アプリケーション ▶ Exchange Active-Sync

監視対象トランザクション

合計 6 1 2 3

アプリケーションの稼働状況



ビジネス

7/13 ユーザー (53.8%) - パフォーマンス

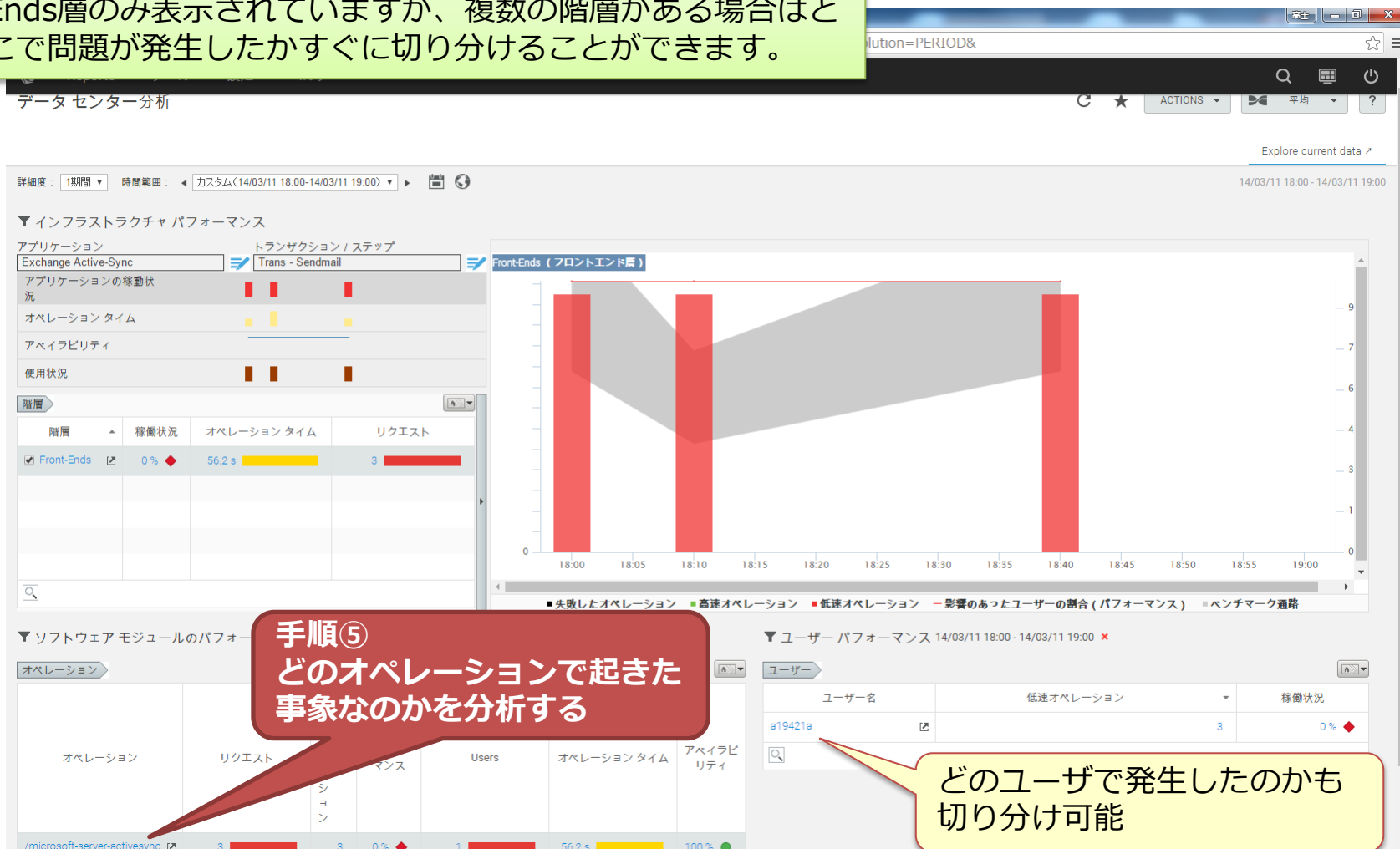
トランザクション	ステップ	稼働状況インデックス (前の24時間のトレンド)	Synthetic	ビジネス	Network	データセンター層
Trans - Sync		5.54 s 208		7/13 ユーザー (53.8%) - パフォーマンス		
Trans - Folder Sync		3.08 s 38		2/3 ユーザー (66.7%) - パフォーマンス		
Trans - Sendmail		5.4 s 3		1/1 ユーザー (100%) - パフォーマンス		
Trans - GetEstimate		オペレーション: 3 ベースライン: 2.6 (▲ 0.4) 内訳: ■ 低速オペレーション: 3/3 (100%) ■ 高速オペレーション: 0/3 (0%) ■ 失敗したオペレーション: 0/3 (0%)				
Trans - Provision		03/12/2014 02:00				
Trans - Ping		12		0/2 ユーザー (0%)		

ユーザー: yohnishi@APM-FTS; 12.188.201.241:80 (ja)

レポートが生成されました: 15/04/26 02:17 東部夏時間 / バージョン: Central Analysis Server 12.4.0.827

問題箇所の特定

この画面では問題があるトランザクションのうち、どの階層で問題が発生したのかを表示しています。ここでは、Front-Ends層のみ表示されていますが、複数の階層がある場合はどこで問題が発生したかすぐに切り分けることができます。



手順⑤
どのオペレーションで起きた
事象なのかを分析する

どのユーザで発生したのかも
切り分け可能

簡単にレスポンス管理ができる製品

DCRUM

(Data Center Real User Monitoring)

Keyword

エージェントレス

実体感レスポンス

全システム

是非セイコーソリューションズブースにて、体験してみてください。

 株式会社 アイ・アイ・エム